

平成26年度徳島県南部地域政策総合会議
計画推進評価部会 議事概要

1 開催日時

平成26年7月7日（月）午前10時から午前11時35分

2 会場

南部総合県民局 美波庁舎 301会議室

3 出席者

(1) 委員 8名出席

委員 小林委員（副部会長）、富沢委員、町田委員、
橋本委員、和田委員
専門委員 石田部会長、森本委員、堺委員

(2) 県関係

鎌田局長、森副局長、重本津波減災部長、川村経営企画部長
楨納保健福祉環境部長、井上産業交流部長、東村県土整備部長
日下政策調査幹、他

(3) 市町関係

阿南市・岡部企画政策課課長補佐、那賀町・湯浅企画情報課長、
牟岐町・新田主事、美波町・磯野総務企画課長

4 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

平成25年度南部圏域課題解決プラン実施結果の評価について

(3) 閉会

5 配付資料

徳島県南部地域政策総合会議計画推進評価部会設置要領

徳島県南部地域政策総合会議計画推進評価部会委員名簿

平成26年度徳島県南部地域政策総合会議計画推進評価部会配席図

資料1 平成25年度南部圏域課題解決プラン実施結果及び評価（案）

資料2 平成25年度南部圏域課題解決プラン取り組み状況

資料3 平成26年度南部圏域課題解決プラン実施計画

会議・発言内容

（事務局）

・委員8名全員出席。部会に属する委員の総数の半数以上の出席があり、徳島県南部地域政策総合会議計画推進評価部会設置要領第5条により、会議は成立とする。

・新委員の堺さんを紹介。

（堺委員）

（あいさつ）

(局長)

(あいさつ)

(事務局)

・議事については、徳島県南部総合政策総合会議計画推進評価部会設置要領第5条第1号に基づき、部会長に進行していただく。

(政策調査幹)

(資料1により内容説明)

(部会長)

・それでは、平成25年度南部圏域課題解決プランの実施結果及び評価(案)について、御質問、御意見さらに「南部圏域計画」への御提言も含め、幅広い御意見等を御発言いただきたい。

(A委員)

- ・時代の流れが速いので、それに応じて変更すべき箇所が多いと思う。
- ・一つのプランに多くの指標があるものは、各指標ごとにA B C D評価した方がよい。
- ・関連施策がどの指標に関連するものか、わかりやすくしてほしい。
- ・プラン22「四国霊場八十八箇所を訪れる人々との交流の促進」に開創1200年に関する施策があるとよいのでは。
- ・空き家に関する項目が、いくつかのプランに分かれて掲載されているが、一括りにしてはどうか。プラン38, 43, 44が関係すると思う。
- ・課題解決プランは今年度が最終。次の平成27年度からの計画を策定するにあたっては、これまでに出てきた新たな課題を盛り込んでいく必要がある。
- ・プラン40は目標値を上方修正しているが、いつ上方修正したのか分かるようにしてほしい。

(部会長)

- ・評価の変更に関わるものはなかった。今後どのようにしていくべきかという御提言であった。
- ・指標ごとに評価をした方がよいとの意見があった。
今はプランとして評価をしている。最終的に合議で決めているが、これまでは平均的に見てきたかもしれない。例えば一番低いものを基準にするなどの方法がある。どの項目に重点を置いて評価するかはプランごとに個別に考えてもよいのではないか。

(B委員)

- ・評価をプランごとに行うとアバウトすぎると思う。
- ・道路について、主要幹線道路の整備はプランにあるとおりに着々と進んでいるが、生活道路の整備についても目標があるとよい。
- ・プラン32、野生生物の適正管理及び鳥獣被害防止対策について、公園など子どもが使う場所から重点的に対策をとるなど細かい部分を変更するとよい。
- ・プラン40、将来を支えていく人づくりに、小学生を対象とした伝統文化を重んじる人づくりを入れてもらいたい。

(部会長)

・振興計画に対しての御意見をいただいた。

(C委員)

- ・プラン15, LED避難誘導施設の設置数については,平成22年度に全くなかったものが平成25年度には63件と飛躍的に伸びている。目標値が高かったのではないかと思う。評価はCではなくBにしてはどうか。
- ・プラン33もBとする程ではない。Aにしてもよいのでは。
- ・農業, 漁業, 林業の後継者問題が大変な問題となっている。平均年齢が65歳を上回っているのではないか。早急な施策が必要だと思う。課題解決プランに反映させてはどうか。
- ・6次産業化して製品を売っていくことが必要。生産者と加工業者が一体となって取り組むことが非常に重要。
- ・移住者の受け入れに関して, 住居だけでなく教育や医療等の安心して暮らせる環境作りを進めていただきたい。

(部会長)

- ・プラン15の評価について, CをBにとの意見があったがいかがか。
異議がないので, プラン15はB評価に変更。
- ・プラン33はBからAにとの御意見についてはいかがか。

(D委員)

- ・プラン33で毎年3千本ずつどんぐりを植樹しているが, どういうところにどんな種類を植えたのか教えてほしい。
- ・プラン33 継続施策2で「生物多様性の確保と県土保全の機能強化を図ることができた」とあるが, 生物多様性の確保はそんなに簡単にできないと思う。文章の修正が必要ではないか。

(保健福祉環境部長)

- ・どんぐりプロジェクトとして平成17年度から保健福祉環境部と県土整備部で協力してこのプロジェクトを進めている。基本的に県予算を使わないゼロ予算事業として実施している。職員が知識や経験を活かして自然林からどんぐりを採取して公共事業施工地等に植樹して, 復元, 回復を行っている。10万5千個のどんぐりを採取し3万2千本の苗木を育てている。3万2千本のうち1万数千本を公共事業の施工地等で植樹を行ったり直接種を蒔いたりしている。
- ・種類としては, どんぐりである「しい」や「かし」等を中心とした10種, 「もみ」「つが」といった自然林, 針葉樹についても採取している。
- ・これまでの実績は, 平成20, 21, 22年度においては那賀町。平成23年度には, 那賀川流域の公共用地に植樹。それと小中学校等いろいろな場所でやっている。
- ・生物多様性に即つながるわけではないが, 未来に向かってこのような活動を続けながら自然の大切さをうたえている。本数も年々増えており目標達成に向けて進んでいる。
- ・有害生物駆除活動については, 台風等の影響があったが目標達成に向けて着実に進めている。
- ・プラン33の継続施策2については, 表現の変更を検討する。

(部会長)

- ・プラン33の評価はBからAに変更してよろしいか。
- ・異議がないのでA評価に変更する。

(E委員)

- ・プラン6の「あんあんサポートネットの組織化」の数値が低いので評価を下げるべき。
- ・プラン29の「浄化槽法定検査受験率」の目標55%は低すぎるのではないかな。

(部会長)

- ・プラン6はAからBに評価を下げてよろしいかな。
- ・異議がないのでB評価に変更する。
- ・プラン29は目標値は達成しているが、そもそも目標値が低いのではないかなとの御意見があったが、いかがかな。

(保健福祉環境部長)

- ・浄化槽法定検査受験率について、南部は県全体と比較すると高い。特に那賀町は一括契約しているため90.9%と非常に高くなっている。
- ・海部郡についても高い数字となっているが、阿南市は51.3%にとどまっている。
- ・達成状況に応じて目標値を変更するのは一つの方法だと考える。
- ・それを踏まえても南部圏域では、熱心に取り組んでもらっていると考えている。

(部会長)

- ・県内の他地域と比べると高いが、公平性の観点から見ると低い。どちらをとるかな。

(F委員)

- ・農業集落排水は入っているのかな。

(産業交流部副部長)

- ・入っていない。

(C委員)

- ・目標値を上方修正した上でAにしてはどうか。

(A委員)

- ・本来は100%であるべきではないかな。

(保健福祉環境部長)

- ・法律上は100%でなければならないが、法定検査と維持点検、清掃がありなかなか御理解いただけない。我々としては、様々な啓発に取り組んでいるところ。

(E委員)

- ・仕組みがわかりにくい等の問題がある。啓発に一層取り組んでもらいたい。

(部会長)

- ・目標を65%に引き上げることを要望した上で、評価はAのままとする。

(C委員)

- ・一括契約制度をもっと他の地域でも進めれば受験率が上がるのではないかな。

(保健福祉環境部長)

- ・一括契約の推進に取り組んでいるが、大きな市町での実施は難しい。
- ・今後も意識啓発に取り組みたい。

(F 委員)

- ・耕作放棄地の活用については、新規就農支援に結びつくような形で進めてほしい。

(D 委員)

- ・プラン 1, 自主防災組織連絡会の結成について、原時点では阿南市ができていないのか。
- ・プラン 8 について、イオンとの連携を進めているのはけっこうなことだが、ゆずの価格が安値安定にならないようお願いしたい。また、良質な農業用水の安定供給とあるがどういう意味かお聞きしたい。
- ・プラン 10 に関して、次の世代の人がやりたいと思う山づくりを目指してほしい。
- ・プラン 30, 環境負荷の少ない計画や工法とはどのようなものか。

(津波減災部長)

- ・自主防災組織率は、平成 22 年度から 10% 上昇している。
- ・市町単位の自主防災組織連絡会については、阿南市も今年度結成できるように調整していただいているところ。

(産業交流部副部長)

- ・国営農地防災事業が那賀川地区で進められており、こうした事業によって良質な農業用水が供給できるという意味。

(部会長)

- ・環境負荷の少ない工法とは、具体的にどのようなものか。

(産業交流部副部長)

- ・農林水産分野では自然環境に配慮した工事を行っている。新たに事業計画を策定するときは、工事に入る前に専門家の意見を聞いて工法を決める等している。また工事に際しても在来の表土の利用や魚道の確保等を行っている。

(G 委員)

- ・南部圏域でこのように多くの事業が実施されていることを知らなかった。
- ・地域で実施されている様々な事業をしっかりと認識して活かしていきたい。

(E 委員)

- ・プラン 32 でモンキードッグ育成頭数が 3 頭とあるがどこにいるのか。
- ・プラン 8 について、かいふエコブランド農産物を支える料理の開発とあるが、どのように提供されているのか、また、告知されているのか。

(産業交流部長)

- ・料理はイベント等で提供されており、地域農産物を使った料理として PR している。
- ・モンキードッグは那賀町にいる。

(部会長)

- ・予定の時間となったので意見交換を終了する。
- ・南部総合県民局には、委員のみなさんからいただいた御意見や御提言を、今後の『徳島県南部圏域振興計画』の策定に、できる限り反映していただきたい。
- ・本日は、委員のみなさんには、幅広い御意見や御提言をいただき、感謝。

(事務局)

- ・ 計画推進評価部会の会議録の公表内容については、部会長と協議の上、公表する。
- ・ 計画推進評価部会の評価結果及び意見は、9月8日に開催予定の「南部地域政策総合会議」において部会長から報告していただく。

(部会長)

- ・ 以上、事務局から説明のとおり、本日の会議録の公表内容については、部会長である私の判断により公表することとしてよろしいか。
- ・ 異議がないようなので、部会長の判断により公表させていただく。
- ・ 「南部地域政策総合会議」への報告についても、本日の「評価結果」等について「計画推進評価部会の意見」として事務局と私の方でまとめた上で、報告させていただく。

(事務局)

- ・ 以上で徳島県南部地域政策総合会議計画推進評価部会を閉会する。